

製品安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : 気泡フィルター
会社名 : 株式会社 リノワース
住 所 : 東京都港区芝大門2-3-8
電話番号 : 03 (3431) 4877
FAX番号 : 03 (3437) 6048
緊急連絡先 : 03 (3431) 4877
作 成 : 2009年12月24日
改 訂 :

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	対象外
	可燃性/引火性ガス	対象外
	可燃性/引火性エアゾール	対象外
	支燃性/酸化性ガス	対象外
	高压ガス	対象外
	引火性液体	対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	対象外
	自然発火性液体	対象外
	自然発火性固体	対象外
	自己発熱性化学品	対象外
	水反応可燃性化学品	対象外
	酸化性液体	対象外
	酸化性固体	対象外
	有機過酸化物	対象外
	金属腐食性物質	対象外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	急性毒性 (経皮)	区分5
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	対象外
	急性毒性 (吸入: 粉じん)	区分5
	急性毒性 (吸入: ミスト)	対象外
	皮膚腐食性/刺激性	区分3

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B
	呼吸器または皮膚感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分3
	水生環境有害性（慢性）	区分4
ラベル要素		
絵表示またはシンボル		
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	飲み込むと有害 皮膚に接触すると有害のおそれ 吸入すると有害のおそれ 軽度の皮膚刺激 眼刺激 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害のおそれ	
注意書き 安全対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと 粉じんを吸入しないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること 環境への放出を避けること	
緊急措置	飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。 皮膚に付着した場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 吸入した場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。	

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

保 管 湿気を避けて保管すること。

廃 棄 内容物を規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一成分・混合物の区別 混合物

	成分	含有量	化学式	CAS No.	化審法番号
①	※セメント	38%	※	—	—
②	シリカ	30%	SiO ₂	14808-60-7	(1)-548
③	酸化チタン	1%	TiO ₂	13463-67-7	(1)-558
④	炭酸カルシウム	30%	CaCO ₃	471-34-1	(1)-122

※セメント物質の特定

成分	含有量	化学式	化審法番号
珪酸カルシウム	50～60%	3CaO·SiO ₂ 2CaO·SiO ₂	(1)-194
アルミン酸カルシウム	30～40%	3CaO·Al ₂ O ₃ 2CaO·Al ₂ O ₃	(9)-2408
硫酸カルシウム	5～10%	CaSO ₄	(1)-183
その他含有成分	5～10%	Fe ₂ O ₃ MgO Na ₂ O K ₂ O 等	—

4. 応急処置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、医師の診断を受けること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。

5. 火災時の措置

製品自体は不燃性である。

消火剤

水、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤

特になし

特有の危険有害性

特になし

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を利用して風上から消火する。

消火を行う者の保護

状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

当該物を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。

回収、中和

少量の場合：バキュームで吸引捕集する。

大量の場合：飛散しないように水を加えて硬化させた後に回収する。

河川／湖沼等に流入した場合は、必要に応じて地方自治体の公害関連部署／河川管理局等に連絡を取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

換気の良い場所で取扱うこと。

粉じんの発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか保護マスクを着用すること。

保護手袋／保護眼鏡を着用すること。

水分との接触を避けること。

保管

直接日光の当たらない乾燥した場所に保管し、水分、湿気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	未設定
設備対策	屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて皮膚が直接ばく露されないような保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	粉体
色	灰色
臭い	ほとんどなし
引火点	なし
溶解度	水と任意に混合する

10. 安定性及び反応性

安定性	常温、常圧で安定。
反応性	水と反応し硬化する。
避けるべき条件	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

局所効果（皮膚、眼など）	刺激性があり、皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	吸入を続けると塵肺になるおそれがある。

12. 環境有害性情報

残留性／分解性	分解しない
生体蓄積性	データなし
生体毒性	データなし

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。

1.3. 廃棄上の注意

水と混練して硬化させた後に廃棄する。洗浄水は炭酸ガスを加え中性化させた後に廃棄する。

1.4. 輸送上の注意

特別の安全対策

輸送前に容器が密閉されているかを確認する。容器の輸送及び運搬は常にしっかり固定した状態で行い、破損、荷崩れに注意する。

1.5. 適用法令

消防法

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質（第57条の2） 政令番号311号 シリカ

政令番号191号 酸化チタン

1.6. その他の情報

責任の限定について

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。